



令和5年12月15日
第497号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

振り返り方

校長 飯塚 進

今年もあとわずかです。今年もあとわずかです。ここ最近では毎年のことではありますが、1年が過ぎるのが速いと感じます。そう感じるのには私だけではないようです。その理由を、人生を分母として考えると分かりやすいという話を聞いたことがあります。10歳の子どもにとっての1年は、 $1/10$ (10分の1)。50歳の人にとっての1年は $1/50$ (50分の1)。だから、年齢を重ねるほど1年が短く感じるというわけです。

ところで、子どもたちは、授業や行事の終わり、学期末など、何かの区切りごとに、「振り返り」をしています。12月も1年の終わりとしての区切りです。

私は、この12月において、子どもたちの振り返り方には、3つのポイントがあると思っています。

1つ目は、よかったことを振り返るということです。楽しかったこと、うれしかったこと、がんばったこと、できるようになったこと等、自分にとってよかったことをたくさん思い出してほしいのです。できればノートに書いたり、友達や家族と話し合ったりするとなおいいと思います。今年1年間もいろいろなことがあったけど、よかったこともたくさんあったなと幸せな気持ちを自分にプレゼントしてほしいのです。

振り返り方のポイントの2つ目は、来年の自分に向けて変えたいところを考えることです。よくなかったこと、残念なこと、失敗したこともあるでしょう。私もいっぱいあります。しかし、ただ失敗したことだけに目を向けると悲しい気持ちになってしまいます。それでは振り返りのよさはないと考えます。よくないところだけに目を向けるのではなく、自分を変えたいところを考えてほしいのです。失敗したっていいと思います。今度失敗しないようにどう自分を変えればいいのかを考えるのです。例えば「漢字が覚えられなかった」「計算が苦手」「スポーツの大会で思うように勝てなかった」ではなく、「漢字の練習の仕方を変えよう」「計算は間違った問題だけをやろう」「スポーツの自主練習をやってみよう」など、失敗を振り返り、何を学んだのか、何を得たのかを考えれば、きっと来年に活かすことができると思います。そうすればさらなるチャレンジへのやる気が出るはずです。チャレンジしようとするやる気を自分にプレゼントしてほしいのです。

振り返り方のポイントの3つ目は、「感謝する」ということです。友達や家族に感謝することはないか、振り返ってほしいと思います。そして、友達や家族に「ありがとう」をプレゼントしてほしいのです。

保護者、地域の皆様のお力添えのおかげで、2学期が終了します。感謝申し上げます。御家族皆様で、良いお年をお迎えください。

